

平成28年(ネ)第2704号 放送受信料請求控訴事件

直送済み

控訴人 宮内 正巖


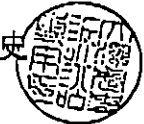



被控訴人 日本放送協会

準備書面 (2)

平成29年2月10日

大阪高等裁判所 第2民事部 御中

原告訴訟代理人

弁護士	平	山	浩	一	郎	
同	大	澤	武	史		
同	山	本	一	貴		
同	梅	田	康	宏		 代
同	秀		桜	子		 代

被控訴人は、控訴人に対し、控訴状「第3 控訴の理由」記載の控訴理由に関し、次のとおり釈明を求める。

- 1 「原判決は、2回の口頭弁論で結審するなど、著しく不当な訴訟指揮のもと、控訴人に十分な主張の機会を与えずになされたものである」と主張するが、これは審理不尽の違法があるとの趣旨が明らかにされたい。
- 2 「内容においても違法不当な判決であり、控訴人としては、到底承服できない」とあるが、原審で主張した以外に、原判決を「違法不当」と考える根拠があるのであれば明らかにされたい。
- 3 原審で控訴人が主張した抗弁がいずれも認められないことについて、認めるのであれば、その旨明らかにされたい。

以上